

せたがや

SETAGAYA

子どもが主役 「教わる」から 「学ぶ」へ



6・7面へ続く
区立小・中学校の取組みをご紹介します

区のおしらせ せたがや

毎月1日・15日
25日(地域版)発行
※1月15日の発行はありません。

発行 世田谷区
編集 広報広聴課

区役所
〒154-8504
世田谷区世田谷4-21-27
☎5432-1111(代)
☎5432-3001(広報広聴課)



最新の情報は
区のホームページで
ご確認ください

column

子どもたちが主役の学びへ

区では、令和5年(2023年)11月に「世田谷区教育大綱」を策定しています。子どもたちのワークショップや総合教育会議で練られたものです。ここでは、「これからの時代、最大の課題は『人類と地球の共存』となる。しかも、にわかには正解のない難題であり、子どもと大人は険しい道を行かなければ生き延びることが出来ない時代だ」

とされており、子どもたちには自らが課題に向き合い、判断して行動できる力が必要になってきています。

区でも、これまでの「教わる」から「学ぶ」へと学びの質の転換が始まっています。教員が子どもたちと関わり、対話する時間を確保することができるよう働き方改革を進め、国際理解教育にも力を入れていきます。

また、多様な個性や背景を持つ全ての子どもたちがともに学ぶインクルーシブ教育を進めるとともに、この4月から旧北沢小学校跡地に「北沢学園中学校」を学びの多様な学校として開校します。地域運営学校も新たなスタートとなり、教育の充実に力を入れます。



世田谷区長
のぶと
坂展人



世田谷区教育大綱 ▶ 区HPQ 6056